



積み重ねることの大切さ

次長 松尾 律子



5月16日(土)には、素晴らしい晴天の中、初等部の運動会を開催することができました。「勝っても負けても笑顔ばつぐん みんなで楽しい運動会」をテーマに、本番を目指してそれぞれの学年の練習がスタートしました。体育の授業だけでなく、休み時間なども使い、応援やリレーの練習に励む子どもたちの姿が見られました。職員室から、その授業の様子を見てみると、5年生が学年種目「ジャンピングエイト」の練習をしていました。子ども同士で意見がぶつかったのでしょうか、先生が間に入り、話し合いをしている場面を見かけました。本番まで日があまりない中で、「間に合うのだろうか…」と思いながら、様子を見守っていました。

そして迎えた本番。目の前に広がっていた光景は、あの練習の時とは大きく違っていました。回し手も跳ぶ人も、勝利を目指して力を合わせ、声を掛け合い、必死に頑張る子どもたちの姿がありました。さらに、縄に入るタイミングをつかむことが苦手な友達の背中を後ろの子がそっと押し、ジャンプを促す姿もみられました。1回でも多く縄を跳ぶために、皆で協力することを選んだ子どもたち。聞いた話では、初等部でこの「ジャンピングエイト」を始めて以来の好記録が出たとのこと。きっと子どもたちの心の中は達成

感に満ち溢れていたのではないかと思います。

その他の学年の種目も今年は子どもたちの意気込みが感じられる工夫が随所に見られ、観ている私たちも思わず引き込まれる場面がありました。今年が初等部最後の運動会となる6年生の綱引きでは、「逆転したい」という紅組の思いと「今年こそ優勝したい」という白組の思いが仲間への声掛けに表れていました。

子どもたちの中には、運動があまり得意ではない子もいたと思います。しかし、仲間がいてくれたからこそ諦めずに努力し続けることができ、その頑張りが結果につながっていったのではないのでしょうか。これこそが、運動会の醍醐味ではないかと思いました。一人ではできないことも、皆で頑張れば乗り越えることができる。そういう経験ができるのが運動会であり、学校の様々な行事です。中には得意でないことや、好きではないことにも向き合わなくてはいけない場面があります。そんな時は、仲間や、我々教師、そして家族の皆様が子どもたちの支えとなり、背中をそっと押してあげていただきたいと思います。

また、今年度もなかよし会の方々や保護者ボランティアの皆様のご協力のお陰で、安全な運動会の運営と、運動会後の速やかな片付けができました。毎年、多くの保護者の皆様に快くお手伝いいただいておりますことを、この場をお借りいたしてお礼申し上げます。本当にありがとうございました。

まもなく、本格的な夏が到来します。6月には、6年生の修学旅行(中部地方)や5年生の宿泊体験学習(静岡県朝霧高原)が行われます。また、6月の下旬からは水泳学習が始まります。例年通り熱中症対策をしっかりと行いながら、子どもたちが充実した日々を過ごすことができますよう、努めてまいります。保護者の皆様におかれましても日々の子どもの健康管理などについて、ご理解・ご協力の程、よろしくお願いいたします。